



**INNOVATOR'S
GARAGE**

Garage Nagoya Topics

ナゴヤ イノベーターズ ガレージの活動やイベント、そこで活躍する人々を紹介するコーナーです。

Report 1



**2022.5.11 Wed.~8.3Wed.
イノベーションドライバー育成プログラム
「ビヨンド ザ ボーダー2.0」第2クール**

ナゴヤ イノベーターズ ガレージで開講している「ビヨンド ザ ボーダー2.0」は、企業変革、イノベーション創出を目的とした“本当にやる”ための戦略デザインの実践、人材育成プログラムとして、新規事業のベースとなる戦略を描いている。

本プログラムは、各企業が抱える課題感を前提として、実践形式で新規ビジネスの戦略を立案し、プログラム終了後に関係者を巻き込んで、戦略を実行へつなげることを目的としている。

今回紹介する第2クールは、5月から8月までの約3か月半にわたり6チーム(1チーム1社3名まで)が参加し、プログラムの中で戦略デザインの実践を進めてきた。イノベーションの基礎からはじまり、各社の置かれている状況や課題を整理し、リサーチ・仮説シナリオの設定、トップインタビュー、関係者との対話をとおして、新しい価値を創出する戦略デザインを磨いていった。受講者は、回を重ねるごとに共創で取り組むマインドへと変化し、一人称の前向きな発言が増えていった。

プログラム内ではケース・ダイアログとして、共創により新しいビジネスを立ち上げてきた先輩方と直接対話する機会を3回設けている。困難な状況をどのように乗り越えていったのか、自らの状況に照らし合わせて対話する姿がとても印象的だった。

最後は、共創しながら磨き上げた戦略を参加者で共有するとともに、その過程を振り返り得られたものを整理した。

戦略を持ち帰り、実行に移すことはもちろんのこと、その学びを組織に還元してこそ意味がある。だからこそ「次に自分は、どう行動するのか」という探究を大切にしている。受講者の今後の事業展開やイノベーション人材としての活躍、周囲への影響力発揮を期待している。

**受講生
募集中**

イノベーション人材育成プログラム ビヨンド ザ ボーダー2.0

**2022年
10月開講**

第3クールを、2022年10月末から2月まで全10回(原則オンラインセッション)を予定しています。新規事業創出への第一歩を一緒に踏み出してみませんか？
プログラムの詳細は、<https://garage-nagoya.or.jp/program/p7845/>をご覧ください。
先ずはお気軽にお問合せください。プログラムの詳細を紹介させていただきます。

詳細・申込



[締切]
2022.10.14

お問い合わせはこちら
お気軽にご相談ください ▶

E-mail : beyond@garage-nagoya.or.jp TEL : 052-253-9758
担当 : ナゴヤ イノベーターズ ガレージ 山本



2022.6.21 Tue.
フューチャーコンパス 第33回 講演会

参加者：約220名

演題「量子コンピュータが変える未来 ～地中から宇宙まで量子技術で社会を変革する挑戦～」

【講師】住友商事(株)QXプロジェクト テクノロジーディレクター／

東北大学大学院情報科学研究科特任准教授(客員) 寺部 雅能 氏

プロフィール／2007年 名古屋大学大学院工学研究科量子工学専攻修了の後、(株)デンソーを経て2020年より現職。量子コンピューティングの社会実装分野で数多くの実証、知財創出、論文出版、海外スタートアップ出資や国際会議での基調講演、招待講演などの実績を持つ。



【講演要旨】

1. 量子コンピュータの現在地

量子コンピュータは、2000年代までは研究領域の一分野であり、社会実装はずっと遠い未来の話だと考えられていた。2011年に一般販売が開始されると、現在ではクラウド経由で誰でも利用可能なサービスとして提供されるようになり、既に商用利用の入り口にある。現時点で量子コンピュータの活用が圧倒的に有利な実例は、まだ見出されていないものの、普段の生活から宇宙まで、あらゆる分野において、ゲームチェンジャーになることが大きく期待される技術である。今後数年のうちに投資が一気に加速し、2040年以降には90兆円の市場になるとの見通しもある。

2. 社会課題解決への期待

量子コンピュータの実用化に大きな期待が集まる背景には、これまでにない形で社会課題を解決できる可能性を持つ点があげられる。

例えば、モビリティ分野で参入が相次いでいる、コネクティッド・サービス※をとおして、収集されたデータをリアルタイムで活用するには膨大な情報処理が必要とされる。従来の情報活用では、各車両がそれぞれ渋滞情報を確認して迂回路を選択することで、結果として

迂回路が混雑してしまうという問題があった。未来の社会では、それぞれの車が自分の目的(例：最速短ルート)を達成すると同時に、社会全体としても価値を最大化する(例：地域全体で渋滞発生抑制)ルート選択ができるような、全体最適化の実現が可能になる。

量子コンピュータは、この事例のように、膨大な組み合わせから最適な答えを求める問題の処理に適しており、食糧分布やエネルギー需給など、分配の偏りを最適化することで社会課題を解決することが期待される。

※コネクティッド・サービス：乗り物がネットワークでつながり、得られた情報を利活用するサービス

3. ワクワクを現実に

量子コンピュータだからこそ実現できる未来を想像すると、その可能性の大きさにワクワクする気持ちが高まる。「こんな世界にしたい」と未来を描き、実現方法を検討する中で、イノベーションの創出につながるコミュニケーションが生まれ、具体化につながっている。イノベーションが非連続な形で世界を何度も変え、未来が予測できないからこそワクワクする感覚を大切に、量子コンピュータが活躍する未来をつくっていききたい。


Report 3
2022.7.2 Sat.
TEENS meetup —未来のスタートアップ—

「TEENS meetup —未来のスタートアップ—」は、高校生が現役の起業家と出会い、語り合う場として、ナゴヤ イノベーターズ ガレージと名古屋市が共同で開催している。第一線で活躍中のスタートアップ経営者や起業家たちが、高校生に向けて起業という生き方のリアルを語り合った。

開催概要

将来起業を志す人だけでなく、進路を決めていない高校生にも生き方を考えるきっかけにしてもらうことを目的に、今回は3名の起業家による講演会&パネルトークセッション、「スタートアップ・ユースキャンプ」説明会を行い140名が参加した(会場:49名(うち高校生34名)、オンライン:91名(うち高校生43名))。講演会では、講師が現在の事業内容や、起業の経緯、やりがい、苦労話な

どを紹介するとともに、人生をどう生きたいか考え続けること、先入観を持たず自らの可能性に蓋をしないことなど、高校生の進路選択の参考になるアドバイスを送った。パネルトークセッションでは、高校時代の経験から今につながっていること、起業のメリット・デメリットについてパネリストが本音で語り、高校生からの率直な質問に対して真摯に答えていた。

講師・パネリスト

- 伊藤 羊一 氏** 武蔵野大学アントレプレナーシップ学部 学部長、Zアカデミア学長、Voicyパーソナリティ、(株)フィラメントCIF、(株)ウェイウェイ 代表取締役、グロービス経営大学院 客員教授
- 千葉 佳織 氏** (株)カエカ 代表取締役、スピーチライター
- 村上 嘉一 氏** ジークス(株) 代表取締役社長CEO

講演会&パネルトークセッション：“起業”という生き方を知ろう

<講演会>

Zアカデミアや武蔵野大学でアントレプレナーシップ学部を立ち上げた伊藤氏は、これから先Internet of Everythingとなる時代に、大人も考えたことのない、大人に負けないアイデアを各々が生み出すことができると参加者にエールを送った。千葉氏は、高校の弁論部時代や就職活動での苦労話を、村上氏は、自身の反骨精神が起業への原動力になったと語った。講師全員、「好きが高じて仕事になった」ことが共通していた。

<パネルトークセッション>

伊藤氏がモデレーターとなり、登壇者の経験談や想いを引き出し、質疑応答では高校生への不安に答え、以下の熱いメッセージを送った。

伊藤氏: 起業をはじめさまざまな選択肢が取れるように

なった世の中で、どういう人生を生きるのかを自由に考えてほしい。日々、自分の人生を自分でつくっていくことを、少しずつ考え積み重ねていってほしい。

千葉氏: 自分にはできない、すでに起業している人がいるのでは、という先入観はこの場に置いて帰ろう。

村上氏: まず知って、何に惹かれるか、それを自分に落とし込めるくらい自分と向き合うことが必要。

高校生からは、「起業するときの仲間はどうのように集めたか」「コミュニケーションが下手でも起業できるか」などの質問が寄せられた。

「スタートアップ・ユースキャンプ」説明会

昨年度事業に参加した2名が登壇し、自身の経験を語った。ユースキャンプへの参加を迷う高校生へ、「やってみる大切さを学んだ」「非常にハードだがここでしかない経験だった」というエールを送った。

2022.7.8 Fri.

Nagoya Innovator's Garage Annex オープン!



ナゴヤ イノベーターズ ガレージは、2019年7月8日の開業から3年を経てナディアパーク(名古屋市中区)3階に「アネックス」をオープンした。

オープニングイベントでは、水野中経連会長((一社)中部圏イノベーション推進機構会長)、河村名古屋市長、佐宗名古屋大学副総長が産学官を代表して挨拶を述べた。水野会長は、「中部圏のイノベーション創出

活動の熱量は年々高まりつつあるが、共創による企業の新規事業開発やスタートアップの事業拡大スピードは、満足できるレベルに至っていない。アネックスが新規事業を目指すイノベーターたちの“たまり場”となり、先輩起業家や各領域の専門家がメンターとなって伴走支援しながらコミュニティを形成していくことが重要と考えた」とオープンの経緯を述べた。

代表者挨拶に続き、アネックスで展開するナゴヤ イノベーターズ ガレージ・名古屋市・名古屋大学が主幹を務めるTongaliのプログラム、アネックスに導入したニュースや株価など世界中の情報を大画面に映し出す「デジタルの窓」、インスピレーションを刺激する世界のイノベーターたちの絵画などを紹介した。また、今後は製品などの展示の場としても活用していくことを発表し、第1弾として(株)アイシンが開発しているマルチモーダルエージェントの「Saya」を紹介し、内覧会では参加者が積極的に会話する姿が見られた。

デジタル時代の価値観を考えるリベラル・アーツ講座 第4クール

大人の学びなおし

参加者
募集中

思考を自由にし、新たな価値観を創造する学びを

人気の講師陣に加え、新たに『Unlearn(アンラーン)人生100年時代の新しい「学び」』(日経BP)の柳川範之教授、『文系と理系はなぜ分かれたのか』(星海社新書)の隠岐さや香教授のほか、社会心理が人々の思想形成に与える影響、ロシア・東欧のプロパガンダ、メディアと「共感」についての研究者などを迎え、これからの日本と世界を考えるための学びを授けるユニークな講師が目白押し!視野を広げ、思考の引き出しを増やし、課題多き社会を切り拓いていくために一。

開催時期 ▶ 2022年11月8日(火)~2023年3月28日(火)

時間 ▶ 18時30分~20時30分

会場 ▶ ナゴヤ イノベーターズ ガレージ (オンラインでの参加も可)

定員 ▶ 100名 (応募者多数の場合は先着順となりますのでお早めにお申し込み下さい)

参加費用 ▶ ナゴヤ イノベーターズ ガレージ会員および中経連会員: 10,000円(全10回)
一般参加: 30,000円(全10回)

詳細・申込

[締切]
2022.10.31